

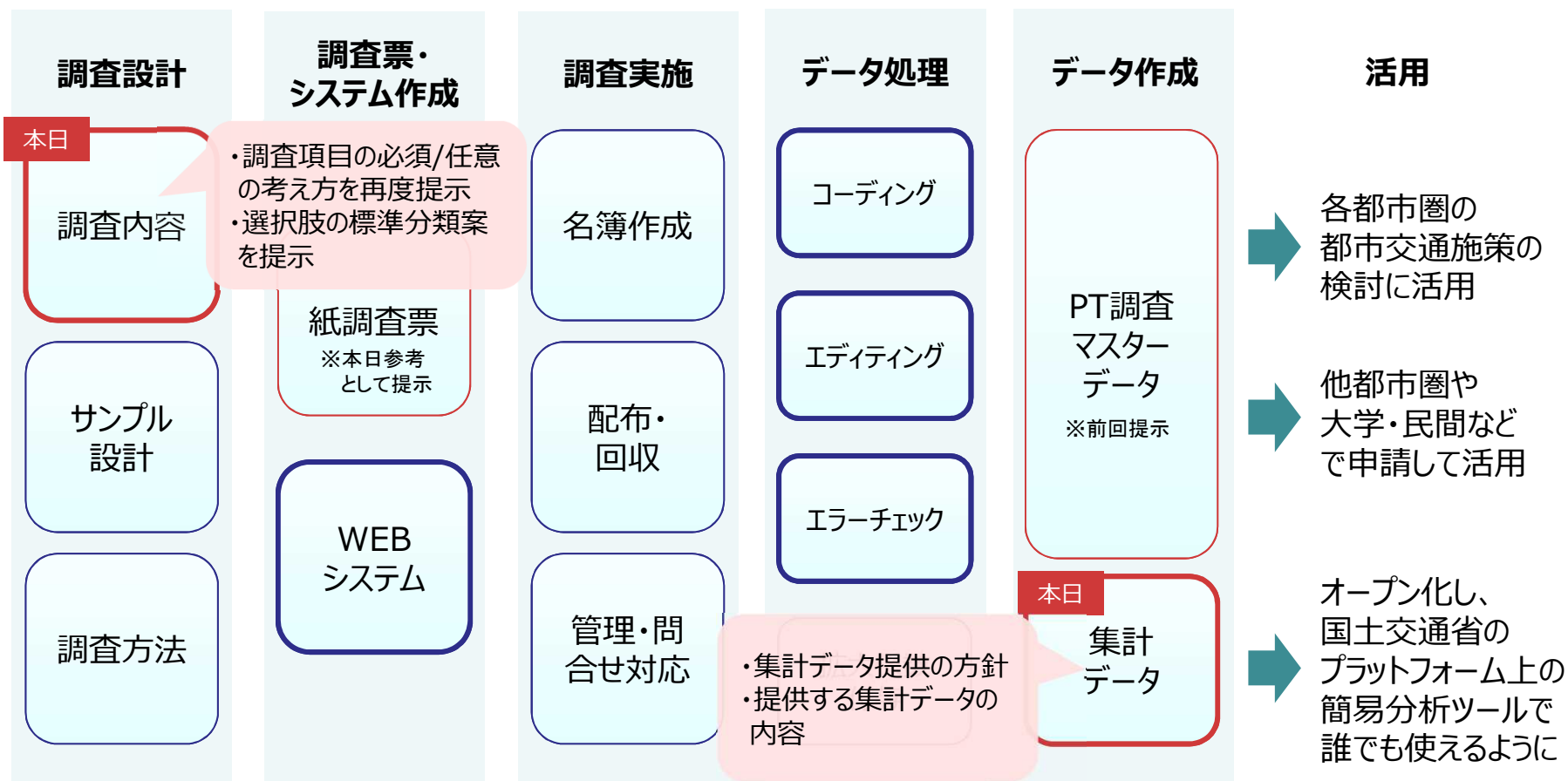
集計データ提供に向けた PT調査データの標準仕様

国土交通省 都市局
都市計画課 都市計画調査室
令和5年3月

今年度の検討対象

- 今年度は**標準的な調査内容（調査項目、選択肢）**を検討
- また、調査内容をデータ化した際のデータレイアウト・コード表の標準仕様、利用者が使用することができる**集計データの内容**を検討

■ 調査設計～活用までの流れと今年度の検討対象



今年度検討
 次年度システム化検討
 次年度標準仕様検討

標準的な調査項目の考え方

- 調査実施の効率化、データの品質確保に向け、**人の移動・活動の分析において重要な調査項目を「必須項目」とし**、各都市圏の調査において必ず取得するように位置付ける
- 一方で、地域特性や社会情勢等に応じて**フレキシブルな調査設計がしやすいように「任意項目」を設定**する
- 任意項目に関しては、**都市規模・政策目標に応じたパッケージを検討**することで、各都市で適用しやすくする

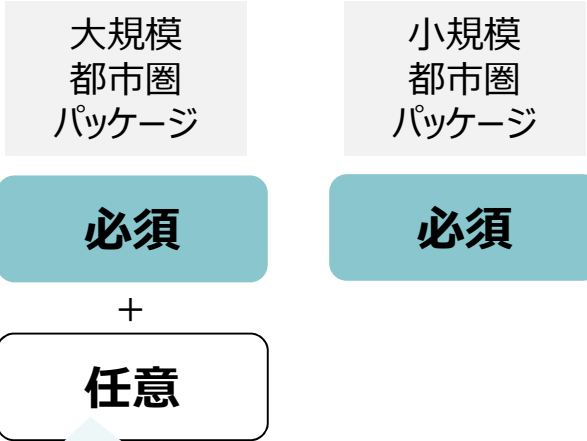
必須

- 人の移動・活動の分析において重要な調査項目
- 必須項目の内容であれば簡便に調査**が実施できるように、必須項目に対応した標準調査票・システム等を、今後、国で作成
- プラットフォーム上に作成する**簡易分析ツールも必須項目まで対応**することを想定

任意

- 都市圏の政策課題や地域特性等に応じて追加する項目
- また、設定した任意項目以外であっても都市圏独自で追加可能とする

都市規模・政策目標に応じて、どのような任意項目を組み合わせるとよいか、パッケージを検討することで、各都市で適用しやすくする



例えば、大規模都市圏では、乗車駅・降車駅を含めたパッケージにする等

- **トリップの把握に必要な項目、基礎的な属性情報を必須項目とする**
- 移動特性や活動特性を分析するために重要な属性情報、トリップや交通手段の利用実態を捉えるために重要な調査項目も必須項目とするが、具体的な内容に関しては今後精査

必須 調査項目

- 都市構造や交通ネットワークの基礎的な検討に活用できるよう、基本となる人の動き（目的別や交通手段別のトリップ）と基礎的な属性（性年齢等）を必須として設定

トリップ（場所・時刻・目的・手段）の把握に必要な調査項目

例：場所、時刻、目的、手段

基礎的な属性情報

例：現住所、性別、年齢

- 移動・活動に関して誰がどんな課題を抱えているかを把握し、施策立案に活用できるよう、世帯や就業、モビリティに関する属性を必須として設定
- 施設立地や公共交通等の個別施策の検討に重要となる、施設種類や乗車駅・降車駅等を必須として設定

移動特性や活動特性を分析するために、重要な属性情報

例：世帯情報：世帯人数、続柄、世帯年収
 就業・就学関係：就業状態、職業、産業、勤務先・通学先
 モビリティ関連：運転免許、自動車保有、外出の困難さ等

トリップや交通手段の利用実態を捉えるために、重要な調査項目

例：施設種類、乗車駅・降車駅、自動車の運転有無

全ての項目を
必須とするか
引き続き検討

任意 調査項目

- 必須項目以外で、調査ニーズがある項目を任意として設定

複数の都市圏での調査実績がある項目

例：免許の返納意向、カーシェアリングの登録有無、同行者数…

参考:標準的な調査項目案 1/2【前回検討会資料】

【世帯票】

必須
必須 (今後精査)
任意

設問	必須/任意	分類	回答内容(例)
現住所	必須	属性項目(基礎情報)	()市町字・丁目・番地(番)・号まで
世帯人数	必須	属性項目(世帯情報)	世帯の人数 ()人 うち5才未満 ()人
続柄	必須	属性項目(世帯情報)	世帯主との続柄を選択
性別	必須	属性項目(基礎情報)	男、女を選択
年齢	必須	属性項目(基礎情報)	年齢を記入
就業状態	必須	属性項目(基礎情報)	1. 自営業主・家族従事者, 2. 正規の職員・従業員, 3. 派遣社員, 4. 契約社員, 5. パート・アルバイト, 6. 会社などの役員, 7. 園児・生徒・学生など, 8. 専業主婦・主夫, 9. 無職
職業	必須	属性項目(就業・就学関連)	1. 管理的職業従事者, 2. 専門的・技術的職業従事者, 3. 事務従事者, 4. 販売従事者, 5. サービス職業従事者, 6. 保安職業従事者, 7. 農林漁業従事者, 8. 生産工程従事者, 9. 輸送・機械運転従事者, 10. 建設・採掘従事者, 11. 運搬・清掃・包装等従事者, 12. その他職業, (職業をお持ちでない方), 13. 中学生以下(生徒・児童・園児など), 14. 高校以上の学生, 15. 主婦・主夫(職業従事者を除く), 16. 無職, 17. その他,
産業	必須	属性項目(就業・就学関連)	1: 農業、林業, 2: 漁業, 3: 鉱業, 4: 建設業, 5: 製造業, 6: 電界・ガス・熱供給・水道業, 7: 情報通信業, 8: 運輸業、郵便業, 9: 卸売業, 10: 小売業, 11: 金融業、保険業, 12: 不動産、物品賃貸業, 13: 学術研究、専門・技術サービス業, 14: 宿泊業、飲食サービス業, 15: 生活関連サービス業、娯楽業, 16: 教育、学習支援業, 17: 医療、福祉, 18: 複合サービス業, 19: その他サービス業, 20: 公務, 21: その他, 99: 不明
勤務先・通学先の所在地	必須	属性項目(就業・就学関連)	()市町字・丁目・番地(番)・号まで
運転免許	必須	属性項目(モビリティ関連)	1. 自動車, 2. 自動二輪車, 3. 原動機付自転車のみ, 4. 持っていない, 5. 自動車免許を持っていたが返納した
運転免許の返納意向	任意	—	1. 今のところ返納を考えていない, 2. 返納予定 ()年後
自由に使える自動車の有無	必須	属性項目(モビリティ関連)	1. ほぼ自分専用の自動車がある, 2. 家族共有の自動車がある, 3. ない,
外出に関する困難の有無	必須	属性項目(モビリティ関連)	1. 外出困難なし, 2. 多少困難はあるが1人で外出できる, 3. 一部で介助者が必要, 4. 常に介助者が必要, 5. 基本的に外出できない
世帯年収	必須	属性項目(世帯情報)	1. 200万円未満, 2. 200~399万円, 3. 400~599万円, 4. 600~999万円, 5. 1000~1499万円, 6. 1500万円以上
自動車の台数	必須	属性項目(モビリティ関連)	軽乗用車()台, 乗用車()台, 軽貨物車()台, 貨物自動車()台
二輪車の台数	任意	—	自動二輪車(50ccを超える)()台, 原動機付自転車(50cc以下)()台, 自転車()台
カーシェアリング	任意	—	世帯の中にカーシェアリングの会員になっている方はいますか, 1. はい, 2. いいえ

参考:標準的な調査項目案 2/2【前回検討会資料】

【個人票】

必須

必須（今後精査）

任意

設問	必須/任意	分類	回答内容(例)
場所	必須	トリップの把握	1. 自宅, 2. 自宅以外 → 所在地を記入(町字・丁目まで)
施設の種類の	必須	トリップや交通手段の実態把握	1.住宅・寮, 2.学校・保育施設・文化施設, 3.医療施設, 4.高齢福祉施設, 5.公園・自然・スポーツ施設等, 6.その他の生活系施設, 7.大規模小売店, 8.小規模小売店, 9.宿泊施設・ホテル, 10.飲食施設, 11.アミューズメント施設, 12.その他の商業系施設, 13.事務所・会社・銀行, 14.官公庁施設, 15.その他の業務系・工業系施設,
目的・活動の種類	必須	トリップの把握	1.勤務先へ(帰社を含む), 2.通学先へ(帰校を含む), 3.自宅へ, 4.買物へ, 5.食事・社交・娯楽へ(日常生活圏内), 6.散歩・ジョギング・運動へ, 7.観光・行楽・レジャーへ(日常生活圏を超える), 8.通院, 9.その他の私用へ(塾・習い事など), 10.送迎(他者の送り迎え), 11.つきそい(他者の用事のつきそい), 1.販売・配達・仕入れ・購入先へ, 13.打合せ・会議・集金・往診へ, 14.作業・修理へ, 15.農林漁業作業へ 16.その他の業務へ,
目的地での消費額	任意	—	()円 ※交通費・業務上の支払いは除く
出発時刻・到着時刻	必須	トリップの把握	1. 午前 2. 午後 ()時()分
利用した交通手段	必須	トリップの把握	1. 徒歩, 2. 自転車, 3. レンタサイクル・シェアサイクル, 4. 原動機付二輪車(50cc以下), 5. 自動二輪車(50ccを超える), 6. タクシー・ハイヤー, 7. レンタカー, 8. カーシェアリング, 9. 乗用車, 10. 軽乗用車, 11. 貨物自動車(ライトバンを含む), 12. 軽貨物車, 13. 自家用バス・貸切バス(送迎を含む), 14. 路線バス(高速バスを含む), 15. モノレール・新交通, 16. 路面電車, 17. 鉄道・地下鉄, 18. 船舶, 19. 航空機, 20. その他
交通手段毎の所要時間	任意	—	手段毎に分単位
移動距離	任意	—	()km
乗り換え地点	必須	トリップや交通手段の実態把握	鉄道の乗車駅、降車駅、バスの乗車バス停、降車バス停
同行者数	任意	—	自動車利用者(うち、運転した方のみ)のみ同乗者数を回答 トリップの同行者数を回答
運転の有無	必須	トリップや交通手段の実態把握	誰が運転しましたか 1. はい 2. いいえ
高速道路の利用有無	任意	—	1. あり, 2. なし
駐車場・駐輪場	任意	—	駐輪場所 1. 道路上・歩道上の駐輪場所, 2. 月極の駐輪場(道路外), 3. 時間貸しの駐輪場(道路外), 4. 目的地の施設の駐輪場(自宅を含む), 5. 駐輪場は使わなかった, , 駐車場所 1. パーキングメーター、パーキングチケット, 2. 月極の駐車場(道路外), 3. 時間貸しの駐車場(道路外), 4. 目的地の施設の駐車場(自宅を含む), 5. 駅前広場内の駐車場, 6. 駐車場は使わなかった
利用券種	任意	—	バス・電車の乗車券で敬老パス・福祉乗車証(無料・割引含む)を利用しましたか 1. 利用, 2. 非利用
在宅勤務の状況	任意	—	その日に在宅勤務をしましたか, 1. はい, 2. いいえ, 在宅勤務に要した時間をお答えください, ()時間 ()分

- 簡易分析ツール等で横並びで同じ分析をできるようにするため、各調査項目の**選択肢の標準分類を整理する**
- 標準分類が守られる範囲で、**詳細な分類の選択肢を組み合わせられる運用**とする

選択肢の標準分類の整理

- 各調査項目の選択肢の分類を複数段階で整理
- 選択肢の分かれる基準を定義するとともに、各選択肢に含まれる具体的な内容を詳細に整理（次ページ参照）

■ 選択肢の標準分類表（目的での整理イメージ）

大分類	中分類	小分類
通勤	通勤	通勤
私事	日常的な買物	日常的な買物
	日常的でない買物	日常的でない買物
	食事・社交	食事
		社交
その他私事		通院
		送迎
		そのほか
...

標準分類の運用

- 原則として用いる分類の詳細度を設定
- 都市圏の状況に応じて、より詳細な分類の選択肢を組み合わせて調査設計できるようにする

どの都市圏も **原則として中分類** を用いると定めた場合、、、

運用例①
中分類をそのまま使用

運用例②
中分類をベースに、「食事・社交」は小分類を採用し選択肢を設計（右表）

中分類	運用例②の調査設計
通勤	通勤
日常的な買物	日常的な買物
日常的でない買物	日常的でない買物
食事・社交	食事
	社交
その他私事	その他私事
...	...

選択肢の標準分類の整理：目的①(通勤、通学、帰宅、業務)

- 目的では、以下のような**大分類、中分類、小分類の3つの段階**にわけた標準分類表が考えられ、**原則として中分類**を用いて、ニーズに応じて小分類の選択肢を組み合わせることが考えられる

大分類		中分類		小分類		具体的な内容	備考		
コード	内容	コード	内容	コード	内容				
100	通勤	100	通勤	100	通勤	勤務先への移動 勤務先への出勤または帰社、先生の登校も含む	勤務先以外での仕事は「400業務」で回答		
200	通学	200	通学	200	通学	通学先への移動 幼稚園、小学?大学、各種学校への登校、および登校してから校外活動をして再び学校に戻る場合も含む、ただし、料理・茶道・語学などの習い事、塾などは含まない	働いている人の習い事等は「591塾・習い事・学習」に含める		
300	帰宅	300	帰宅	300	帰宅	自宅への移動 勤務先、通学先、その他の外出先から自宅へ帰ってくる場合			
400	業務	410	販売・配達・仕入れ・購入先	410	販売・配達・仕入れ・購入先	販売・配達・仕入れ・購入先等のモノの移動を伴う仕事上の移動 製造工場から商店・卸売業者への製品輸送、新聞・牛乳などの配達、郵便配達、商店・デパートの配達、出前、製造業者の原料仕入れ、製造工場から卸売業者などへの製品輸送、卸売・商社・小売の製品仕入れ、中央市場・魚市場・青果市場からの仕入れ、得意先への納品など	せまい範囲（おおむね町丁目、字単位）内の複数個所に立ち寄った場合は、1つの移動にまとめる		
		420	打合せ・会議・集金・往診	420	打合せ・会議・往診	打合せ・会議・往診等の行先で人と会うための仕事上の移動 業務上の打合せ、会議、講演、研修、書類持参・受領、生命保険・化粧品自動車等のセールス、医師往診など			
		430	その他の業務	431	サテライトオフィス等でのテレワーク	431	サテライトオフィス等でのテレワーク	勤務先以外での仕事のための移動 サテライトオフィス、シェアオフィス等の勤務先以外での仕事、オンライン会議のための利用も含む	
				432	農林漁業作業	432	農林漁業作業	農林漁業の作業のための移動 田、畑、山林、牧場、家畜飼育所、温室、養殖場、漁場などでの作業	
433	その他の業務			433	その他の業務	上記以外の業務目的 業務上の送迎、業務上の預金、電気・ガス・水道の検討および集金、視察、調査、自動車・機械などの出張修理、ビル・道路などの建設・補修・掃除などを含む			

原則として用いる分類

※分類の整理はイメージであり詳細は引き続き検討

選択肢の標準分類の整理: 目的② (私事)

大分類		中分類		小分類		具体的な内容	備考
コード	内容	コード	内容	コード	内容		
500	私事	510	日常的な買物	510	日常的な買物	日常的な以下の品目に関わる買物 生活必需品、食料品、日用品など	勤務・通学先等への目的地への移動途中での、飲み物等を購入するコンビニ・売店等の立ち寄りには含まない
		520	日常的でない買物	520	日常的でない買物	購入頻度の低い以下の品目に関わる買物 衣類、家具、電気製品、贈り物などの買い物など	
		530	食事・社交	531	食事	一人もしくは家族での食事 レストラン、料理店、ドライブイン、スナックなどの施設で食事する場合	
				532	社交	家族以外の他者との交流活動 私的なつきあいやパーティ、婦人会、PTAの会合、宗教活動、冠婚葬祭、病氣見舞いなど	
		540	娯楽・文化活動	540	娯楽・文化活動	日常生活圏内で行う娯楽・文化活動 美術・映画の鑑賞、音楽・コンサート、ボーリング、スポーツ観戦、パチンコ、麻雀など	
		550	通院・デイサービス	551	通院	病院での受信・治療 診察、治療、検査、リハビリなど（付き添い、見舞いは含まない）	
				552	デイサービス	デイサービス・通所介護 デイサービスセンターや介護事業者での、運動、身体機能訓練、健康チェック、趣味・レクリエーション活動など	
		560	送迎・つきそい	561	送迎	子どもや高齢者等の送り迎え 保育園等への送迎、介護施設への送迎など、業務の送迎は含まない	子どもや高齢者等の送迎される当人は「送迎」以外の目的で回答
				562	つきそい	他者の用事のつきそい（行先で一緒に時間を過ごす） 子どもの習い事のつきそい、親の病院へのつきそいなど	子どもや高齢者等のつきそいされる当人は「つきそい」以外の目的で回答
		570	散歩・ジョギング・運動	571	散歩・ジョギング	散歩やジョギング等の広範囲を移動する運動 散歩、ジョギング、ランニング、サイクリングなど	
				572	運動・スポーツジム通い	ジムや公園等の特定の場所での運動 クラブ・ジムなどの体づくり、体育館での運動など	
		580	観光・行楽・レジャー	580	観光・行楽・レジャー	日常生活圏を離れて行う余暇活動もしくは非日常的なイベント 名所・旧跡等への観光、ハイキング、山、ゴルフ、体験型レジャー、温泉、宿泊・保養、運動会、祭り	
		590	その他の私事	591	塾・習い事・学習	塾・習い事・学習 学習塾での勉強、料理・茶道等のおけいこ、自己研鑽のための研修・セミナー参加など（業務での研修を除く）	
				592	地域活動・ボランティア	地域活動・ボランティア 自治会・町内会の活動地域での緑化活動、ごみ拾いや草刈りなどの環境整備 活動、在宅高齢者への給食サービス、入院中の子供への学習指導や本の読み聞かせなど	
593	その他の私事			上記以外の私事目的 散髪、美容、入浴、預貯金、書類の受領、郵便投函など			

参考：既存のPT調査における選択肢(目的)

全国PT (R3)	三大都市圏		
	東京PT (H30)	近畿PT (R3)	中京PT (H23)
1.勤務先へ（帰社を含む） 2.通学先へ（帰校を含む） 3.自宅へ ○私的 4.買物へ 5.食事・社交・娯楽へ（日常生活圏内） 6.散歩・ジョギング・運動へ 7.観光・行楽・レジャーへ（日常生活圏を超える） 8.通院 9.その他の私用へ（塾・習い事など） 10.送迎（他者の送り迎え） 11.つきそい（他者の用事のつきそい） ○業務目的 1.販売・配達・仕入れ・購入先へ 13.打合せ・会議・集金・往診へ 14.作業・修理へ 15.農林漁業作業へ 16.その他の業務へ	○通勤・通学 1.勤務先へ（出勤・帰社） 2.通学先へ（登校・帰校） ○買い物・食事・社交等 3.日用品の買い物へ 4.日用品以外の買い物へ 5.食事・社交へ 6.文化活動へ ○通院・介護等 7.通院 8.デイサービスへ ○つきそい・送迎 9.他者の用事のつきそい 10.他者の送り迎え ○その他の私的な活動 11.塾・習い事・学習へ 12.散歩・ジョギング／運動へ 13.観光・行楽・レジャーへ 14.地域活動・ボランティアへ 15.その他の私用へ ○業務 16.打合せ・会議・商談へ 17.販売・配達・仕入・購入先へ 18.その他の業務へ 19.自宅へ（帰宅）	○買物・社交等 11.食品・日用品の買い物 12.食品・日用品以外の買い物 13.食事 14.社交 15.娯楽 16.文化 ○通院・介護等 17.通院・リハビリ 18.デイサービス 19.送り迎え ○その他の私的な活動 20.散歩・ジョギング 21.サイクリング 22.習い事・スポーツジム通い 23.地域活動・ボランティア 24.その他日常的な活動 31.観光 32.祭り・イベント等 33.宿泊・保養 28.ハイキング・スポーツ競技 29.体験型レジャー 30.その他非日常的な活動 ○仕事・業務 41.打合せ・会議・集金・往診 42.販売・配達・仕入れ・購入 43.作業・修理 44.農林漁業作業 45.その他	○出勤・帰宅目的など 1.出勤（勤務先へ） 2.登校（通学先へ） 3.帰宅 4.帰社・帰校（会社、学校へ帰る） ○自由目的 5.日常的な家事・買物 6.日常的でない買物 7.通院、デイケア・デイサービス 8.習い事・塾など 9.食事 10.社交 11.娯楽・文化 12.散歩・ジョギング 13.観光・行楽・レジャーなど 14.地域活動・ボランティアなど 15.送迎・付き添い 16.その他の自由目的 ○業務目的 17.打合せ・会議・書類持参・受領、集金 18.販売・配達・仕入れ・購入 19.作業・修理 20.農林漁業作業 21.その他の業務目的

選択肢の標準分類の整理：交通手段

- 以下のような3つの段階的にわけた標準分類表が考えられ、**原則として中分類**を用いることが考えられる

大分類		中分類		小分類		備考
コード	内容	コード	内容	コード	内容	
100	鉄道	100	鉄道	101	鉄道・地下鉄	特定の軌道上を運行する交通サービス
				102	路面電車	
				103	モノレール・新交通	
				104	新幹線	
200	バス	210	路線バス・コミュニティバス	211	路線バス、BRT	乗合があり、決められた路線(場所及び時刻)で運行されている交通サービス
				212	コミュニティバス	
				213	高速バス、都市間バス	
		220	デマンド交通	221	デマンドバス(乗降場所が指定のもの)	乗合があり、決められた路線(場所及び時刻)ではないデマンド型の交通サービス
				222	乗合タクシー、AIデマンドタクシー	
		230	自家用バス・貸切バス	230	自家用バス、貸切バス、企業や学校等の送迎バス・スクールバス、病院・商業施設が運行する送迎バス、福祉バス	特定の企業・施設が運行する交通サービス(関係ない他者との乗合はない)
300	タクシー・ハイヤー	300	タクシー・ハイヤー	300	タクシー、ハイヤー、介護タクシー、福祉有償運送	乗合はなく、運転手と車両を貸し切って運送する交通サービス
400	自動車	410	乗用車	411	乗用車	運転する場合には免許が必要であり、「200バス」、「300タクシー・ハイヤー」、「500原付・バイク」を除く車両による移動
				412	軽乗用車(超小型モビリティ含む)	
		420	貨物車	421	貨物自動車(ライトバンを含む)、大型トラック、小型トラック	
				422	軽貨物車、軽トラック	
		430	レンタカー／カーシェアリング	431	レンタカー	
432	カーシェアリング					
500	原付・バイク	500	原付・バイク	501	原動機付二輪車(50cc以下)、スクーター、原付バイク	運転する場合には免許が必要な二輪車等(道路交通法における原動機付自転車)による移動
				502	自動二輪車(50cc超)、オートバイ	
600	自転車	610	自転車(電動アシスト付含む)	610	自転車(電動アシスト付、電動キックボード含む)	運転に免許は不要であり、歩行補助車を除いた車両(道路交通法における軽車両)による移動 ※電動キックボード(特定小型原付)を含む(2023.7以降)
		620	レンタサイクル・シェアサイクル	620	レンタサイクル、シェアサイクル、コミュニティサイクル	
700	徒歩(シニアカー等含む)	700	徒歩(シニアカー等含む)	701	徒歩	徒歩もしくは徒歩が困難である人が利用する歩行補助車での移動
				702	車いす	
				703	電動車いす、シニアカー、電動三輪車	
800	その他	800	その他	801	船舶、フェリー	
				802	航空機	
				803	その他	

参考：既存のPT調査における選択肢(交通手段)

全国PT (R3)	三大都市圏		
	東京PT (H30)	近畿PT (R3)	中京PT (H23)
1. 徒歩 2. 自転車 3. レンタサイクル・シェアサイクル 4. 原動機付二輪車 (50cc以下) 5. 自動二輪車 (50ccを超える) 6. タクシー・ハイヤー 7. レンタカー 8. カーシェアリング 9. 乗用車 10. 軽乗用車 11. 貨物自動車 (ライトバンを含む) 12. 軽貨物車 13. 自家用バス・貸切バス (送迎を含む) 14. 路線バス (高速バスを含む) 15. モノレール・新交通 16. 路面電車 17. 鉄道・地下鉄 18. 船舶 19. 航空機 20. その他	○徒歩・二輪車 1. 徒歩 (シニアカー含む) 2. 自転車 (個人所有) 3. レンタサイクル・コミュニティサイクル 4. バイク (原動機付自転車・自動二輪) ○鉄道・路面電車 5. 鉄道・地下鉄・モノレール・新交通 (ゆりかもめなど) 6. 都電・路面電車 ○バス 7. 路線バス・コミュニティバス 8. 高速バス 9. 自家用バス・貸切バス (企業等の送迎バスを含む) ○自動車 10. 乗用車・軽乗用車 11. 貨物自動車・軽貨物車 12. レンタカー／カーシェアリング 13. タクシー・ハイヤー 14. その他	10. 徒歩 (シニアカー含む) 21. 車いす 31. 自転車 32. レンタサイクル・コミュニティサイクル 41. 原動機付自転車 (50cc以下) 51. 自動二輪車 (50cc 超) 61. 軽乗用車 62. 軽貨物車 63. 乗用車 64. 貨物自動車 65. レンタカー、カーシェア 71. 路線バス 72. コミュニティバス 73. BRT 74. 自家用バス・貸切バス 81. 鉄道・地下鉄・新交通・モノレール 82. 新幹線 91. タクシー・ハイヤー 92. ユニバーサルデザインタクシー 93. デマンドタクシー 94. 介護タクシー・福祉有償運送 95. 航空機 96. フェリー・船舶 97. その他	○徒歩・自転車など 1. 徒歩 2. 車いす (手動) 3. 電動車いす、ハンドル型電動車いす 4. 自転車 5. 電動アシスト付自転車 6. 原動機付自転車 (50cc以下) 7. 自動二輪車 (50ccを超える) ○自動車 8. 軽乗用車 9. 乗用車 10. 小型貨物車 (軽貨物車、ライトバンを含む) 11. 普通貨物車、特種 (殊) 車 12. レンタカー、カーシェアリング 13. 自家用バス、貸切・送迎バス ○公共交通 14. タクシー・ハイヤー 15. 路線バス、高速バス、ガイドウェイバス、路面電車 16. コミュニティバス 17. 鉄道 18. 地下鉄 (相互乗り入れ含む) 19. 船舶 20. 航空機 21. その他

選択肢の標準分類の整理：施設

- 以下のような3つの段階的にわけた標準分類表が考えられ、**原則として中分類**を用いることが考えられる

大分類		中分類		小分類		具体的な内容
コード	内容	コード	内容	コード	内容	
100	生活系施設	110	住宅・寮	110	住宅・寮	一戸建住宅、集合住宅(アパート、マンションなど)、寮など
		120	学校・保育施設・文化施設	121	学校・保育施設	保育園、幼稚園、託児所、小・中・高等学校、大学、教習所、養成所など各種学校、研究所、試験所、塾・予備校、けいこ場
				122	文化・宗教施設	図書館、博物館、美術館、コンサートホール、公民館、物産展示場、県民会館、市民会館、公会堂、集会所、神社、寺院、教会など
		130	医療・厚生・福祉施設	131	病院・医療施設	病院、診療所、療養所、産院、保健所など
				132	厚生・福祉施設	老人ホーム、デイサービスセンターなど
190	その他の生活系施設	190	その他の生活系施設	浴場、理容・美容院、クリーニング店、コインランドリーなど		
200	業務・工業系施設	210	事務所・会社	210	事務所・会社	民間会社、事務所、銀行、郵便局、証券会社、新聞社、雑誌社、放送局、その他商社、設計事務所、サテライトオフィスなど
				220	官公庁	220
		290	その他の業務・工業系施設	291	工場・作業所	工場、作業場
				292	交通・運輸施設	鉄道駅、空港、バスターミナル、車庫、駐車場、郵便ポスト、公衆電話ボックスなど
				293	供給・処理施設	ゴミ処理場、電気・ガス・上下水道施設、火葬場、し尿処理場など
				294	倉庫・物流ターミナル	倉庫、物流施設、野積場、貯蔵所、資材置場、トラックターミナル、配送センターなど
299	その他の業務・工業系施設	会議場、展示場など				
300	商業系施設	310	大規模商業施設(デパート・ショッピングセンター)	310	大規模商業施設(デパート・ショッピングセンター)	デパート、ショッピングモール、アウトレットモールなど
				320	小規模商業施設	320
		330	宿泊施設・ホテル	330	宿泊施設・ホテル	旅館、ホテル、宿泊所、民泊、カプセルホテルなど
		340	飲食施設	340	飲食施設	食堂、カフェ、レストラン、ファーストフード店、居酒屋、ドライブイン、バーなど
		350	娯楽施設	350	娯楽施設	遊園地、劇場、映画館、ボーリング場、バッティングセンター、ゴルフ練習場、ゲームセンター、カラオケ、パチンコ屋など
		390	その他の商業系施設	390	その他の商業系施設	問屋、市場等(卸売市場、中央卸売市場、魚市場、青果市場など)、ガソリンスタンド、道の駅、イベント会場など
400	その他	410	公園・自然値・スポーツ施設等	411	公園・緑地	公園、緑地
				412	海・山・川などの自然値	海、山、川などの自然地
				413	体育・レクリエーション施設	体育館、競技場、スケートリンク、野球場、ゴルフ場、テニスコート、スタジアムなど
		490	その他の施設	494	農林漁業作業地・施設	農場、牧場、家畜飼育所、温室、水産養殖場、田畑、山林、苗場、漁場
				495	工事現場・その他	工事現場など

* 大規模開発地区関連交通計画マニュアル(平成26年6月)では、住宅・事業所・大規模商業施設の把握が必要であることから、中分類でそれらの分類ができるように考慮

原則として用いる分類

※分類の整理はイメージであり詳細は引き続き検討

参考：既存のPT調査における選択肢（施設）

全国PT (R3)	三大都市圏		
	東京PT (H30)	近畿PT (R3)	中京PT (H23)
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ○生活系施設 1.住宅・寮 2.学校・保育施設・文化施設 3.医療施設 4.高齢福祉施設 5.公園・自然地・スポーツ施設等 6.その他の生活系施設 ○商業系施設 7.大規模小売店 8.小規模小売店 9.宿泊施設・ホテル 10.飲食施設 11.アミューズメント施設 12.その他の商業系施設 ○業務系・工業系施設 13.事務所・会社・銀行 14.官公庁施設 15.その他の業務系・工業系施設 	<ul style="list-style-type: none"> ○居住系 1.住宅・寮 2.学校・教育施設・幼稚園・保育施設 3.文化施設 4.宗教施設 5.医療・厚生・福祉施設 ○業務・商業系 6.事務所・会社・銀行 7.官公庁 8.問屋・卸売市場 9.小規模小売店 10.大規模小売店 11.物産直売所 12.飲食店 13.宿泊施設 14.娯楽・レクリエーション施設 ○工業系 15.工場・作業所 16.交通・輸送施設 17.供給・処理施設 18.倉庫 ○その他 19.公園・緑地 20.海、山、川などの自然地 21.商店街など「まち」 22.体育・スポーツ施設 23.農林漁業作業地・施設 24.工事現場・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○住居係施設 1.住宅・寮 2.学校・教育・保育施設 3.文化・宗教施設 4.病院・医療施設 5.厚生・福祉施設 ○業務・商業系施設 6.事務所・会社・銀行 7.官公庁 8.問屋・卸売市場 9.小規模小売店 10.大規模小売店 11.飲食店 12.社交・娯楽施設 13.宿泊施設 ○工業系施設 14.工場・作業所 15.交通・運輸施設 16.供給・処理施設 17.倉庫・物流ターミナル ○公園・緑地・その他 18.公園・緑地・海・山・川 19.体育・レクリエーション施設 20.農林漁業作業地・施設 21.工事現場・その他

選択肢の標準分類の整理：属性①

- 各種属性に関しては、**国勢調査等の他調査で同様の調査項目がある場合には整合**がとれるように設定
- 他調査にない調査項目等に関しては、**過去PT調査での選択肢をもとに設定**

続柄：国勢調査の分類と整合

コード	内容
1	世帯主
2	世帯主の配偶者
3	子
4	子の配偶者
5	世帯主の父母
6	世帯主の配偶者の父母
7	孫
8	祖父母
9	兄弟姉妹
10	他の親族
11	その他

※国勢調査には「住み込みの雇人」が選択肢として含まれているが、「その他」に統合

就業形態：過去PT調査をもとに設定

コード	内容
10	自営業主・家族従事者
20	正規の職員・従業員
30	派遣社員、契約社員等
40	パート・アルバイト
50	会社などの役員
60	その他
70	園児・生徒・学生など
80	専業主婦・主夫
90	無職

職業：国勢調査の分類と整合

コード	内容
1	管理的職業従事者
2	専門的・技術的職業従事者
3	事務従事者
4	販売従事者
5	サービス職業従事者
6	保安職業従事者
7	農林漁業従事者
8	生産工程従事者
9	輸送・機械運転従事者
10	建設・採掘従事者
11	運搬・清掃・包装等従事者
12	その他職業

産業：国勢調査の分類と整合

コード	内容
1	農業、林業
2	漁業
3	鉱業
4	建設業
5	製造業
6	電界・ガス・熱供給・水道業
7	情報通信業
8	運輸業、郵便業
9	卸売業
10	小売業
11	金融業、保険業
12	不動産、物品賃貸業
13	学術研究、専門・技術サービス業
14	宿泊業、飲食サービス業
15	生活関連サービス業、娯楽業
16	教育、学習支援業
17	医療、福祉
18	複合サービス業
19	その他サービス業
20	公務
21	その他

選択肢の標準分類の整理：属性②

- 各種属性に関しては、**国勢調査等の他調査で同様の調査項目がある場合には整合**がとれるように設定
- 他調査にない調査項目等に関しては、**過去PT調査での選択肢をもとに設定**

運転免許：過去PT調査をもとに設定

コード	内容
1	自動車
2	自動二輪車
3	原動機付自転車のみ
4	持っていない
5	自動車免許を持っていたが返納した

外出困難：過去PT調査をもとに設定

コード	内容
1	外出困難なし
2	多少困難はあるが1人で外出できる
3	一部で介助者が必要
4	常に介助者が必要
5	基本的に外出できない

自由に使える自動車：過去PT調査をもとに設定

コード	内容
1	ほぼ自分専用の自動車がある
2	家族共有の自動車がある
3	ない

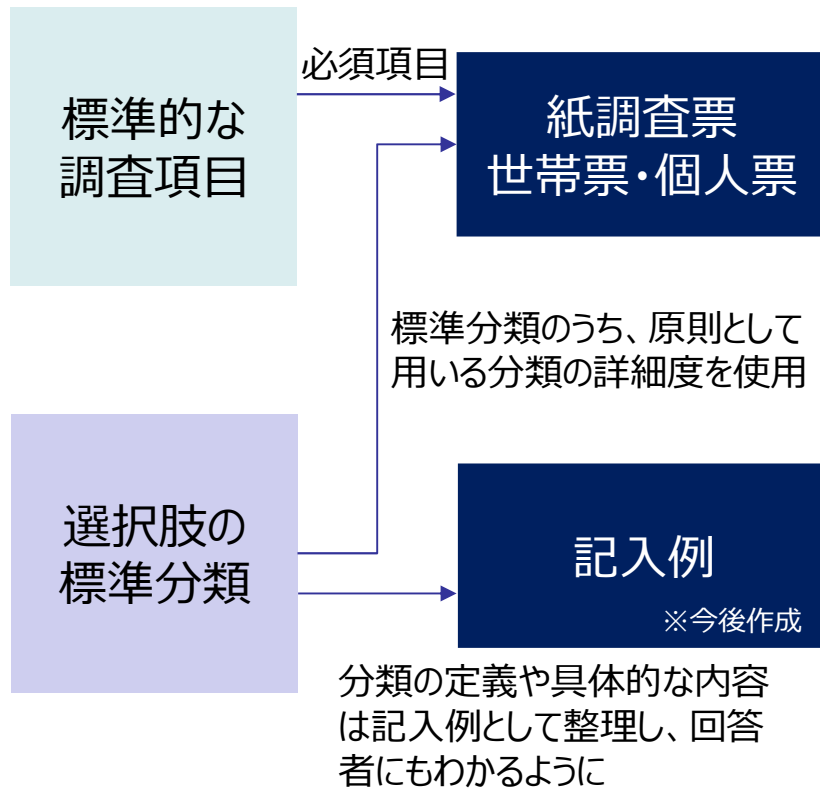
世帯年収：過去PT調査をもとに設定

コード	内容
1	200万円未満
2	200～399万円
3	400～599万円
4	600～999万円
5	1000～1499万円
6	1500万円以上

参考：紙調査票のサンプル作成

- 調査内容の検討の参考として、設問量の目安等を把握するため、これまで検討した標準的な調査項目の必須項目、選択肢の標準分類のうち原則として用いる分類の詳細度を使用し、紙調査票を作成した

■ 検討内容の紙調査票等への反映方法



■ 紙調査票のサンプル

The sample form is titled '世帯票' (Household Survey) and '個人票 (平日)' (Individual Survey (Weekday)). It includes sections for household composition (世帯構成), activities (活動状況), and travel (移動状況). The form is designed to be filled out by the respondent, with checkboxes and dropdown menus for various categories.

※高齢者の回答が多くなることから文字を大きくA3で作成、また印刷費用の観点から安価に済ませられる2色刷りをサンプルとして用意

集計データ提供の方針

- 集計データは国のプラットフォームを通じて誰でも利用できるようにする
- 集計データはゾーン単位での提供を基本とする、メッシュ単位のデータの提供に関しては今後引き続き検討

各都市圏のPT調査の集計データは国のプラットフォームを通じて、誰でも利用できるようにする

- 各都市圏で規定のフォーマットで集計データを集計し、国のプラットフォームから利用者が使用できるようにする
- 調査結果のマスターデータ（1人1人の移動・活動がデータ化されたもの）は、国のプラットフォームでは保有・提供せず、利用者が使用したい場合には、各都市圏に利用申請を行うかたちとする

集計データはゾーン単位での提供を基本とする

- PT調査は、ゾーン単位のトリップ数の統計的精度を担保するように調査設計が行われているため、ゾーン単位での集計値の提供を基本とする
- メッシュ単位の集計データに関しては今後引き続き検討：分析可能な内容が増え、他データとの接続性も高くなるものの、データの精度や秘匿の観点から課題があるため

表 ゾーンとメッシュの集計データの特徴比較

	ゾーン	メッシュ
データの精度	○ トリップ数の統計的精度を担保するように調査設計	△ メッシュあたりサンプル数が少なくなり、集計値の誤差が大きくなる
分析可能な内容	○ ゾーンよりも細かい単位での分析はできない	◎ 詳細な空間解像度や駅からの距離帯別の行動分析等が可能
他データとの接続性	△ 都市圏独自で設定するため、他データとの接続性は低い	◎ メッシュは全国共通であり、他データとの接続性も高い
秘匿対応	○ 不要	× メッシュ内に建物が1つしかない場合等への対応が必要

データ提供の枠組み

- 利用者が各都市圏の集計データを簡便に利用できるように、**各都市圏ではPT調査が終わったら規定フォーマットの集計データ及びゾーンGISデータを国に提供**し、国のシステムから利用者が使用できるようにする
- プラットフォームを通じて提供する集計データやゾーンのGISデータは、**政府標準利用規約第2.0版に準拠し営利目的・非営利目的を問わず二次利用を可能とする予定**
- マスターデータに関しては、利用者が各都市圏に申請するかたちとする

■データ提供の枠組み

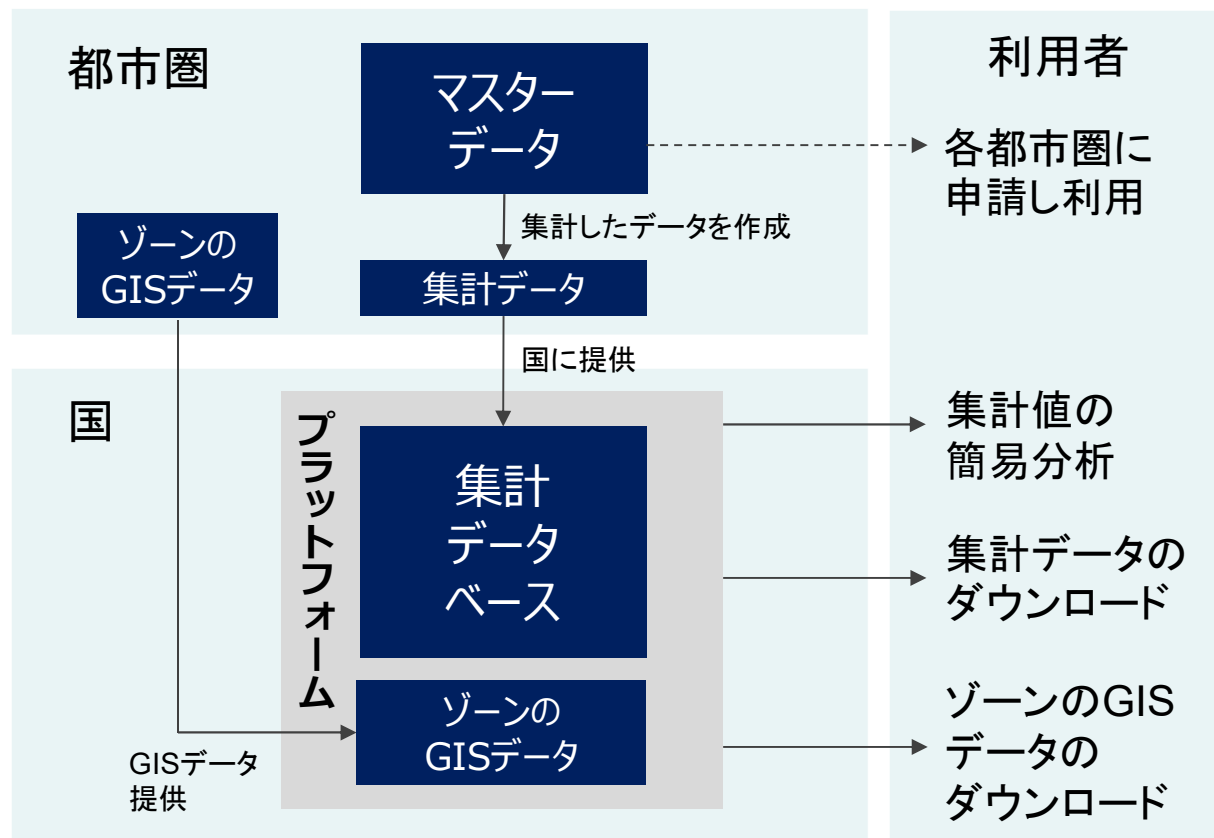


表 各データの空間単位

	マスターデータ	集計データ
ゾーン	◎ 必須	◎ 必須
緯度経度	○ 当面任意※	—
メッシュ	○ 当面任意※	○ 当面任意※
利用範囲	各都市圏に 申請し利用	誰でも 利用可

※アドレス・ベース・レジストリ等により、各都市圏共通で簡便に緯度経度化できるようになった場合、必須とすることを検討

※全国PT調査データを用いたシミュレータ（資料5の内容）によるデータ提供は今後検討

- 全国PT調査データを用いたシミュレータを用いることで、「1人1人の移動・活動のデータ」が生成可能となる
- 疑似的に生成したデータであるため、マスターデータとは異なり個人情報には該当せず、一般への提供も可能と考えられる
- 実際のデータ提供の可否、データ提供の方法に関しては、今後引き続き検討

提供する集計データの内容

- **集計データの空間単位はゾーン単位を原則**（将来的にはメッシュデータの提供も検討）
- 集計項目は、PT調査で一般的に分析される項目を設定
- クロス項目は、**標準的な調査項目で必須とした内容をクロス項目**にする

集計データの空間単位

- ゾーン単位での集計値の提供、ゾーンのGISデータ（shp形式等）もセットで提供
- 将来的にはメッシュデータの提供も検討

集計項目（案）

人の移動・活動特性	外出率
	グロス原単位・ネット原単位
	移動時間・活動時間
トリップ	発生量・集中量
	OD交通量
そのほか	鉄道端末トリップ
	滞留人口
	居住人口

クロス項目（案）

属性	性別、年齢階層、就業形態、免許保有、自由に使える自動車、世帯構成、職業、産業、外出の困難さ、世帯年収
トリップ特性	移動目的、交通手段、施設種類、時間帯、運転有無、端末交通手段
そのほか	平日・休日

参考：三大都市圏PTで提供されている集計項目

東京PT※1	三大都市圏 近畿PT※2	中京PT※3
<p>○人口関連 居住地ゾーン別性別年齢階層別人口 居住地ゾーン別就業別人口</p> <p>○原単位関連 居住地ゾーン別性別年齢階層別目的種類別原単位 居住地ゾーン別就業別年齢階層別目的種類別原単位 居住地ゾーン別車種別目的種類別運転有無別トリップ数 ゾーン別時刻別滞留人口</p> <p>○発生集中度関連 ゾーン別目的種類別代表交通手段別発生集中度 ゾーン別目的種類別発着時間帯別発生集中度 ゾーン別代表交通手段別発着時間帯別発生集中度 ゾーン別代表交通手段別発着施設別発生集中度</p> <p>○分布関連 目的種類別代表交通手段別OD表</p> <p>○その他 鉄道駅乗降別端末手段別トリップ数 着ゾーン別目的種類別駐車場所別台数 ゾーン間代表交通手段別平均所要時間</p>	<p>○人口に関する集計 小ゾーン別夜間人口、外出人口（5歳以上） 小ゾーン別性別年齢階層別夜間人口、外出人口（5歳以上） 小ゾーン別職業別夜間人口、外出人口（5歳以上）</p> <p>○生成量に関する集計 小ゾーン別性別年齢階層別生成量 小ゾーン別職業別生成量 中ゾーン別性別年齢階層別生成量</p> <p>○発生集中度に関する集計 小ゾーン別目的別発生量・集中度 小ゾーン別代表交通手段別発生量・集中度 小ゾーン別目的別代表交通手段別発生量・集中度（大分類）</p> <p>○流動量に関する集計 小ゾーン間OD表 小ゾーン間目的別代表交通手段別OD表 小ゾーン間目的別代表交通手段別平均所要時間</p> <p>○駐車・駐輪に関する集計 小ゾーン別目的別駐車場所別駐車台数 小ゾーン別目的別駐輪場所別駐輪台数</p> <p>○鉄道利用 小ゾーン別駅別目的別鉄道端末手段別乗降別トリップ数 目的別乗換者数</p>	<p>○1章 総トリップ数の現況と推移 5歳以上人口の現況と推移 一人あたりトリップ数の現況と推移</p> <p>○2章 性別・年齢階層別トリップ数の現況</p> <p>○3章 目的別代表交通手段構成比の現況</p> <p>○4章 代表交通手段別目的構成比の現況</p> <p>○5章 駐車場所別台数</p> <p>○6章 鉄道端末交通手段別トリップ数の現況</p> <p>○7章 発着施設別トリップ数の現況</p> <p>○8章 地域別発生集中トリップ数</p> <p>○9章 地域間流動量</p>

※1 平成30年調査の主要な基礎集計項目を記載（その他の集計データ等は未記載）

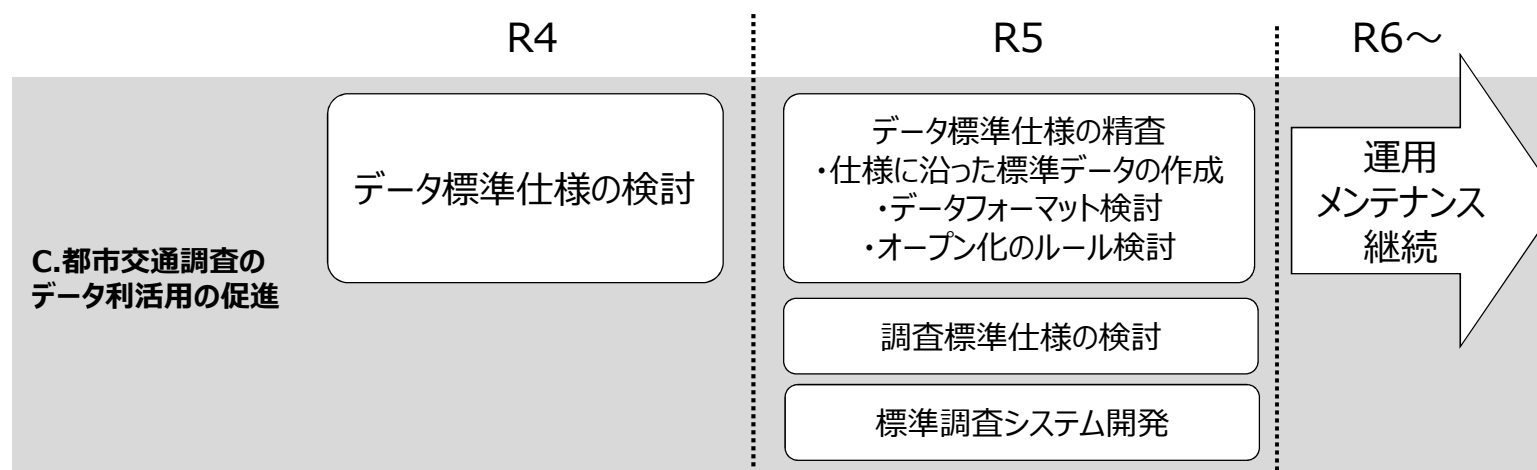
※2 平成22年調査の平日の主要な基礎集計項目を記載（各項目から2-3個主要なものを抜粋）

※3 平成23年調査の都市圏全体の平日の主要な基礎集計項目を記載（各章から主要な項目を抜粋）

今後の検討事項とご意見いただきたい事項

今後の検討事項

- ・本日のご意見もふまえ、調査内容・データレイアウトの標準仕様を精査
- ・次年度以降、データ標準仕様の精査、及び、調査の標準仕様・システム化を検討



ご意見いただきたい事項

○標準的な調査内容

→必須／任意の設定の考え方 (p2)

選択肢の標準分類：目的・交通手段等で定義の明確化等が必要な個所 (p7-15)

○集計データ提供

→集計データ提供の方針 (p17,18)、提供する集計データの内容 (p19)